

旧上野ふれあいプラザの売却に係る公募型プロポーザル審査結果及び講評

1 経緯と審査結果

(1) 経緯

- ・公告・募集要項等の公開 令和3年 8月16日 (月)
- ・質問書の受付期限 令和3年 9月 1日 (水)
質問2件 (1者)
- ・参加希望表明書等の受付期限 令和3年 9月 8日 (水)
参加表明1者
- ・本申込みの受付期限 令和3年10月11日 (月)
- ・プロポーザル審査 令和3年10月19日 (火)

本プロポーザルは、書面審査及びプレゼンテーションによる審査を行い、評価点を基に審査委員会で決定いたしました。

(2) 審査結果

最優秀提案者 株式会社ひまわりケアサービス

2 審査講評

(1) 提案内容に関する審査講評

ア 施設計画

1階に地域からの要望である、スーパーマーケットを配置し、生鮮食料品が販売された提案を評価した。

2階には診療所、薬局、デイサービスセンター及びフードコート、お土産コーナー、3階には32床の有料老人ホーム、4階には12床の有料老人ホームと就労支援B型など、地域や施設の特性を理解し、中心市街地の活性化に結び付く効果的な施設活用が期待できる提案についても評価した。

イ 利活用の概要

既設建物をリニューアルして事業化した実績もあり、周辺的生活環境や地域の景観と調和された施設改修が提案された。

ウ 事業の実現性・継続性

可能な限り工期の短縮に努めた実現性の高い計画を評価した。

長期的な経営が期待できる資金計画・財務状況についても評価した。

エ 価格

最低価格以上の提案価格であった。

オ その他

地域住民に必要とされる生活必需品の提供及びまちづくり活動に貢献できる施設とするなど、第2期伊賀市中心市街地活性化基本計画の基本理念を理解し、地域にとって有益な独自提案やコンセプトがある提案を評価した。

(2) 総評

本事業は、市の中心的な位置にあり、地域にとって長らく商業施設として愛用されてきた施設を有効活用するもので、地域住民の関心も非常に高い事業である。提案者からは、既存の施設や地域との連携についても期待される提案がなされた。

最優秀提案とした株式会社ひまわりケアサービスの提案は、施設内容が充実し、各審査項目においてバランスのとれた評価を得た優れた提案であった。また、内科などのクリニックを誘致する独自提案については、数年後に市街地南部の民間救急医療施設が郊外に移転することで起こる、地域住民の不安を解消することを期待できるものであった。

今後は、株式会社ひまわりケアサービスで整備される施設が、将来にわたり、市の中心的な賑わいの施設として、市の発展に寄与することを期待する。

旧上野ふれあいプラザ譲渡公募型プロポーザル審査委員会
委員長 久 隆浩